

2020 年 3 月 期
決 算 説 明 資 料

金沢信用金庫

【 目 次 】

2020年3月期決算の概況	1
1.総括	1
(1)損益の概要	
(2)自己資本比率(国内基準)	
(3)金融再生法開示債権	
2.損益状況	2
3.預金・貸出金等	3
(1)預金・貸出金（未残）	
(2)預り資産（未残）	
4.有価証券の評価損益	3
5.自己資本比率(国内基準)	4
6.開示不良債権	4
(1)金融再生法開示債権	
(2)金融再生法開示債権の保全状況	
7.2021年3月期業績予想	5

2020年3月期

決算の概況

2020年6月3日

信用金庫名 金沢信用金庫（理事長 忠田 秀敏）
 本店所在地 金沢市南町1番1号
 問合わせ先 責任者役職名 総合企画部長
 氏 名 津田 一志 TEL(076)231-0147

通常総代会開催日 2020年6月17日

1. 2020年3月期の業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 経営成績

(注) 記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円 (%)	百万円 (%)	百万円 (%)
2020年3月期	7,871 (6.3)	1,195 (23.1)	1,166 (23.9)
2019年3月期	7,402 (10.2)	970 (49.9)	941 (50.2)

	貸出金残高	預金残高
	百万円 (%)	百万円 (%)
2020年3月期	215,810 (5.4)	484,368 (1.5)
2019年3月期	228,335 (0.1)	491,820 (1.3)

(注) 経常収益、経常利益、当期純利益、貸出金残高、預金残高におけるパーセント表示は、対前期増減率

(2) 財政状態

	総資産	純資産
	百万円 (%)	百万円 (%)
2020年3月期	514,671 (1.5)	24,645 (4.0)
2019年3月期	522,604 (1.2)	25,687 (0.0)

(注) 総資産、純資産におけるパーセント表示は、対前期増減率

(3) 諸比率

	自己資本比率	不良債権比率
	%	%
2020年3月期	9.16	13.16
2019年3月期	9.52	12.90

(注) 1. 自己資本比率（国内基準）は、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用金庫がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当かどうかを判断するために金融庁長官が定める基準に基づき算出しております。

2. 不良債権比率（金融再生法）は、総与信に占める開示不良債権の割合であります。

2. 2021年3月期の業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

	経常収益	経常利益	当期純利益
	百万円 (%)	百万円 (%)	百万円 (%)
2021年3月期	6,300 (19.9)	770 (35.5)	770 (33.9)

(注) 経常収益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率

2020年3月期決算の概況

1.総括

○ 損益は次の通りとなり、4期ぶりの増収、増益となりました。

経常収益	7,871 百万円	(前期比	468百万円)
コア業務純益	942 百万円	(前期比	△117百万円)
経常費用	6,676 百万円	(前期比	243百万円)
経常利益	1,195 百万円	(前期比	224百万円)
当期純利益	1,166 百万円	(前期比	225百万円)

○ 自己資本比率(国内基準)は、前期末比0.36ポイント低下して9.16%となりました。

○ 金融再生法開示債権は、前期末比1,100百万円減少して28,640百万円となりました。

(1) 損益の概要

(単位:百万円)

	2020年3月期			2019年3月期
		2019年3月期比	増減率	
経常収益	7,871	468	6.3%	7,402
コア業務純益	942	△ 117	△11.0%	1,060
経常費用	6,676	243	3.7%	6,432
経常利益	1,195	224	23.1%	970
当期純利益	1,166	225	23.9%	941

(2) 自己資本比率(国内基準)

(単位:%)

	2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月末比	
自己資本比率	9.16	△0.36PT	9.52

(3) 金融再生法開示債権

(単位:百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月末比	
金融再生法開示債権 (不良債権比率)	28,640 (13.16%)	△ 1,100 (0.26PT)	29,740 (12.90%)

2.損益状況

- 業務粗利益は、資金利益や役員取引等利益が減少したものの、債券の売却益等によるその他業務利益の増加等により、前期比31百万円増加して6,102百万円となりました。
- 経費は、人件費、物件費ともに減少したこと等により、前期比100百万円減少して5,030百万円となりました。
- 本業の収益を示すコア業務純益は、経費が減少したものの、資金利益や役員取引等利益の減少等により、前期比117百万円減少して942百万円となりました。
- 経常利益は、上記の要因のほか、貸倒引当金戻入益の増加等により、前期比224百万円増加して1,195百万円となりました。
- これらの結果、当期純利益は前期比225百万円増加して1,166百万円となりました。

(単位:百万円)

	2020年3月期		2019年3月期
		2019年3月期比	
業務粗利益	6,102	31	6,070
(除く国債等債券損益)	5,973	△ 217	6,191
資金利益	5,671	△ 89	5,760
役員取引等利益	354	△ 108	463
その他業務利益	76	230	△ 153
うち国債等債券損益	128	249	△ 121
経費 (除く臨時処理分)	5,030	△ 100	5,131
うち人件費	2,624	△ 58	2,682
うち物件費	2,263	△ 47	2,310
コア業務純益 (注1)	942	△ 117	1,060
投信解約益除くコア業務純益	722	△ 253	976
一般貸倒引当金繰入額 ①	-	△ 374	374
業務純益	1,071	506	564
臨時損益	123	△ 281	405
うち株式関係損益	77	59	18
うち不良債権処理額 ②(注2)	144	191	△ 46
うち貸倒引当金戻入益 ③(注2)	71	71	-
うち償却債権取立益 ④	165	△ 187	353
経常利益	1,195	224	970
特別損益	△ 17	1	△ 19
税引前当期純利益	1,177	226	951
法人税、住民税及び事業税	11	0	10
法人税等調整額	△ 0	0	△ 0
当期純利益	1,166	225	941

(実質不良債権処理額) ①+②-③-④	△ 92	△ 66	△ 25
---------------------	------	------	------

(注) 1.コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券損益

2.2020年3月期は、一般貸倒引当金繰入額と個別貸倒引当金繰入額の合計額が取崩超過となりましたので、取崩超過額を「臨時損益」の貸倒引当金戻入益に計上しております。

3.預金・貸出金等

- 貸出金は、事業性融資が減少したほか、住宅ローン等の個人向け融資と地公体向け融資が減少したこと等により、前期末比12,525百万円減少して215,810百万円となりました。
- 預金は、個人預金・法人預金がともに減少し、前期末比7,451百万円減少して484,368百万円となりました。
- 預り資産では、国債は前期末比258百万円減少して4,043百万円となりました。また、投資信託は前期末比438百万円減少して5,899百万円となり、保険は前期末比162百万円減少して27,368百万円となりました。

(1)預金・貸出金（末残）

(単位:百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月末比	
貸出金	215,810	△ 12,525	228,335
うち消費者ローン	64,531	△ 3,518	68,049
うち住宅ローン	55,051	△ 2,754	57,806
預金	484,368	△ 7,451	491,820
うち個人預金	382,729	△ 2,369	385,098
うち法人預金	101,639	△ 5,082	106,721

(2)預り資産（末残）

(単位:百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月末比	
国債	4,043	△ 258	4,301
投資信託	5,899	△ 438	6,337
保険	27,368	△ 162	27,530

4.有価証券の評価損益

- 有価証券の評価損益は、前期末比2,746百万円減少して1,177百万円の評価益となりました。

評価損益

(単位:百万円)

	2020年3月末		2019年3月末
		2019年3月末比	
満期保有目的	-	△ 2,708	2,708
その他有価証券	1,177	△ 38	1,216
株式	4	△ 91	95
債券	1,690	846	843
その他	△ 516	△ 794	277
合計	1,177	△ 2,746	3,924
株式	4	△ 91	95
債券	1,690	△ 1,787	3,477
その他	△ 516	△ 867	351

5.自己資本比率(国内基準)

○ リスクアセットは前期末比5,494百万円減少して221,763百万円となりました。一方、自己資本の額は、昨年7月末に優先出資消却を2,000百万円実施したこと等により前期末比1,333百万円減少して20,315百万円となりました。この結果、自己資本比率は前期末比0.36ポイント低下して9.16%となりました。

2020年3月期の開示内容(国内基準)

(単位:百万円)

		2020年3月末		2019年3月末
			2019年3月末比	
自己資本の額	a	20,315	△ 1,333	21,649
リスクアセット	b	221,763	△ 5,494	227,257
自己資本比率	a/b	9.16%	(△0.36PT)	9.52%

6.開示不良債権

○ 金融再生法開示債権は、前期末比1,100百万円減少して28,640百万円となりました。
また、総与信に占める割合は、前期末比0.26ポイント上昇して13.16%となりました。
○ 保全率は、前期末比0.22ポイント上昇して83.53%となりました。

(1)金融再生法開示債権

(単位:百万円)

		2020年3月末		2019年3月末
			2019年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権		4,582	45	4,537
危険債権		24,012	△ 1,127	25,140
要管理債権		44	△ 18	62
金融再生法開示債権	a	28,640	△ 1,100	29,740
総与信残高	b	217,570	△ 12,830	230,401
総与信残高比合計	a/b	13.16%	(0.26PT)	12.90%

(2)金融再生法開示債権の保全状況

(単位:百万円)

		2020年3月末		2019年3月末
			2019年3月末比	
金融再生法開示債権	a	28,640	△ 1,100	29,740
保全額	b	23,923	△ 854	24,778
貸倒引当金		9,806	△ 388	10,195
担保・保証		14,117	△ 466	14,583
保全率	b/a	83.53%	(0.22PT)	83.31%

(注) 貸倒引当金は個別貸倒引当金及び要管理債権に対して計上している一般貸倒引当金の合計額です。

7.2021年3月期業績予想

- 経常収益は、6,300百万円を見込んでおります。
- コア業務純益は、530百万円を見込んでおります。
- 経常利益は、770百万円を見込んでおります。
- これらの結果、当期純利益は770百万円を見込んでおります。

通期(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位:百万円)

	2021年3月期		2020年3月期
		2020年3月期比	
経常収益	6,300	△ 1,571	7,871
コア業務純益	530	△ 412	942
経常利益	770	△ 425	1,195
当期純利益	770	△ 396	1,166